

✽ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✽

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

## 福岡市学校図書館支援センターの紹介

福岡市学校図書館支援センターは、平成27年4月から本格的に事業を開始し、学校図書館がもつ「読書センター」「学習センター」「情報センター」という3つの機能が学習の場で十分発揮できるように先生方や学校図書館関係者を支援するもので、主に次のようなことをしています。

### ○学校図書館運営相談・学校訪問

図書館の運営にあたり、疑問や困っている点をはじめ、お尋ねになりたいこと等について、支援センター職員がお応えします。電話やファクスの他、支援センター職員が学校を訪問し、実際に学校図書館の様子を見ながら助言を行う、学校訪問も行っています。

#### (相談例)

Q. どういうものを科学読み物というのかその範囲について知りたい。(学校司書から)

A. 科学読み物の定義は、『最新図書館用語大辞典』(伯書房2004. 4)にあり、『理科読をはじめよう』(滝川洋二/編 岩波書店2010. 3)に魅力的な科学本の3つの条件が紹介してあります。

Q. 次年度図書館改修の予定があるので、その前に一度図書館を見てアドバイスをしてほしい。(学校司書から)

A. 早急に学校訪問し、図書館の状況を見ながら一緒に検討させていただきます。



図書館改修のアドバイス



配架の相談

### ○支援図書の出貸 ※利用にあたっては、事前に学校登録が必要です。

児童・生徒が学習活動で活用するための図書貸出を行っています。支援用図書の貸出は1回80冊、貸出期間は最大4週間以内です。

セットで準備していない内容についても適宜対応していますので、ぜひご相談ください。希望によって配本と回収を行っています。

詳細は、ホームページでご確認ください。

#### (セットの一部)

##### 小学校

学年	科目	単元・テーマ	セット名
1	国語	じどう車くらべ	はたらくじどうしゃ
2	国語 生活	しかけカードの作り方 うごくうごくわたしのおもちゃ	うごくおもちゃ
3	国語	食べ物のひみつ教えます	すがたをかえるたべもの
4	総合	福祉	手話・点字・ユニバーサルデザイン
5	総合	環境	食糧問題・温暖化・ごみリサイクル
6	理科	生物と地球環境	環境全般・エネルギー



黒いベルトで束ねた学習支援用図書のセット



青いコンテナに入れて配送する学習支援用図書

※現在、次年度の新しい教科書の内容に合わせて、セット内容を見直しています。

## 中学校

項目	セット名	項目	セット名
キャリア教育	さまざまな職業	修学旅行	奈良・京都 ガイドブック
	職場体験		奈良・京都 神社・仏閣・仏像

## (セットにない図書貸出の例)

### 小学校

学年	科目	単元・テーマ	内容
1	生活	たのしいあき いっぱい	どんぐり等木の実を使った工作図鑑
2	国語	お手紙	アーノルド・ロベール作品
3	総合	アジアについて調べよう	韓国・インドネシア等アジアの国の文化や産業等
4	国語	プラタナスの木	小学校3・4年生が主人公の物語
5	国語	百年後のふるさとを守る	偉人や達人等の伝記
6	総合	日本の伝統食 和食	日本の伝統行事・行事食

### 中学校

科目	内容	科目	内容
国語	古典関連	国語	「君は『最後の晩餐』を知っているか」の関連図書

### (相談例)

- Q. 大活字本の青い鳥文庫を中学校で購入しようと思っており実物を見たいのですが、借りられますか。(学校司書から)
- A. 借りることができます。
- Q. 各教科の先生から本の購入リストを挙げてもらおう資料として、教科毎に出版社リストを送ってもらうことは可能ですか。(学校司書から)
- A. 早急に教科毎の出版リストを作成し、送付します。

## ○図書館学習

福岡市総合図書館の資料を利用して、館内で調べ学習などの授業を行うことができます。

### (例)

- ・ 在校生が1年生に読み聞かせするための仕方を学び、読み聞かせに使う絵本や紙芝居を選ぶ授業  
(事前に、読み聞かせをするのに適した絵本や紙芝居を多数準備しておき、そこから子どもが自由に選ぶこともできます)



読書相談員による  
読み聞かせの実演

## ○小学生読書リーダー養成講座

読書の楽しさやおもしろさを子ども同士で直接伝えることができる小学生読書リーダーを養成し、子どもが主体的に取り組む校内読書活動充実のための講座を実施します。

今後、中学生向けの読書リーダー養成講座を検討中です。



読み聞かせの練習

## 3月生まれの文学者



### 宮川 ひろ (みやかわ ひろ) と『春駒のうた』

群馬県 1923年3月15日生まれ 2018年没

宮川氏は、利根川水源に近い山奥の1年の半分は雪におおわれているような小さな集落で育ち本も読まず、昔話にも出会いませんでした。群馬師範(現群馬大学)、金華学園教員養成所で学んだ後、小学校教員になり、戦争中は集団疎開で静岡県の磐田で子どもたちと生活を共にしたこともあったそうです。

宮川氏が作品を書くようになったのは、国鉄のホームのベンチに読み捨ててあった坪田譲治氏(童話作家)の講演会記事が載っていた新聞を夫が持って帰り、その講演に参加したことがきっかけで、その後も坪田氏の講座や講演会、童話教室に参加しながら作品を書いていた。

夫が病気になり一家の生活を支えるために産休補助教員をしていた1969年、46歳の時に産休補助教員の体験が色濃くでている原稿用紙80枚程度の『るすばん先生』で作家デビューをしました。

『春駒のうた』は、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書にもなった宮川氏の初めての長編作品です。宮川氏は、残暑の時分、大西祐行氏の紹介で出版社から作品を依頼されると、その年のクリスマス頃には、各章ごとに綴った学校教員らしい見事な筆跡の235枚の原稿を書きあげました。

学校を舞台に子ども、教員、家族のふれあいを暖かな視線でとらえた宮川氏の作品は、『おかあさんのつうしんぼ』、『つばき地ぞう』(新美南吉賞)、『夜のかげぼうし』(赤い鳥文学賞)、『桂子は風のなかで』(日本児童文学者協会賞)などあります。



### 石田 衣良 (いしだ いら 本名 石平庄一) と『5年3組 リョウタ組』

東京都 1960年3月28日生まれ

石田氏は、小学校2年の頃から、朝、図書館から借りた本を夕方返しに行き、また別の本を借りるということを毎日繰り返し、7歳の時には既に作家になりたいという気持ちがあり、小学校の卒業文集にも、自分で書いたもので人を楽しませたいと「作家になりたい」と書いたそうです。

いつか作家になりたいという思いから、中学、高校では、1日に3冊ずつ読もうと決め、1日の生活の6～7割は本を読んでいた。

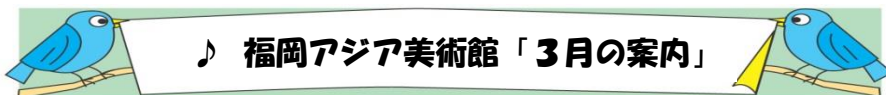
成蹊大学では成績がとても悪く1年留年し、卒業後はフリーターになりました。その後は、大学でも1日1.5冊以上、ずっと本を読んでいたのがコピーなら書けるだろうと考え、広告関係のプロダクションにコピーライターとして入社し、平成5年に独立しました。

30代半ばになり、子どもの頃あこがれていた小説をゆっくり書いてみようと思っていた時に、たまたま目にした雑誌の星占いの結果に背中をおされたのがきっかけで、1日2時間くらい働いて、あとは小説を書いていたそうです。

平成8年から新人賞の応募を始め、平成9年に『池袋ウエストゲートパーク』でオール読物推理小説新人賞を受賞し、翌年受賞作に他の3篇を加え同名作で作家デビューしました。

『5年3組 リョウタ組』は、現代の教育問題が全部入った愉快的若い教員の物語が書きたい、日々悩みながら教育現場に立つ「普通」の教員の目線で書きたいという意図で始まった石田氏の初めての新聞連載作品で、連日原稿用紙2.5枚ずつを半年以上書き続けたそうです。

石田氏の作品は、『4TEEN』(直木賞)、『6TEEN』、『約束』、『下北サンデーズ』などあります。



## ♪ 福岡アジア美術館「3月の案内」

\*\*\*\*\*



### \* アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

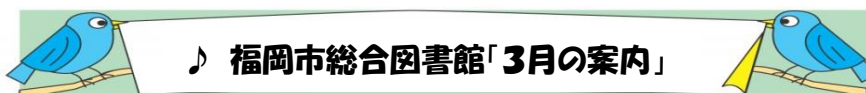
8日(日), 10日(火), 22日(日), 24日(火)

・時間 11:30~12:00, 13:00~13:30

・場所 7階「キッズコーナー」(申し込み不要)

### \* 絵本の展示

「おうさま・おひめさまがでてくる絵本」(予定)のミニ特集を展示します。(閲覧のみ)



## ♪ 福岡市総合図書館「3月の案内」

\*\*\*\*\*



### \* 毎月のおはなし会

1日(日), 7日(土), 8日(日), 21日(土)

22日(日), 28日(土), 29日(日)

・時間 土曜日: 7日, 21日

14:10~14:25 赤ちゃん向けおはなし会

14:30~14:50 幼児向けおはなし会

28日

14:30~15:00 幼児から小学生向けおはなし会

日曜日: 1日, 8日, 22日, 29日

14:30~15:00 幼児向けおはなし会

15:15~15:45 小学生向けおはなし会

・場所 「こども図書館 おはなしの家」

### \* こども図書館の本の展示

「わくわくドキドキ」する本を集め展示します。(貸出可)

## ☆ あとがき

今月紹介した石田氏は、在学中たくさん本を読むだけでなく、文章力を鍛えるために、高校から大学にかけて毎日日記を書いていました。また、ペンネームの石田衣良(いしだいら)は、本名の「石平(いしだいら)」を分けてつくったそうです。

昨年度、学習支援用図書を活用した学校のアンケートでは、9割以上が「学習支援用図書がとても役立った」「役立った」と回答しており、多くの学校で役立っているようです。今後、主体的・対話的で、深い学びの授業実践に、学習支援用図書を活用してほしいと思います。

発行: 福岡市教育委員会 生涯学習課

電話: 092-711-4655 FAX: 092-733-5538

## 図書館員のひみつの本棚 第166回

今月は国語辞典に関する本の紹介です。

### 『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』

飯間 浩明／著 ポプラ社 2019年 1200円（税抜）

#### <お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年—— 中学年—— 高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高 校☆ — 般——

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

#### <本の紹介>

『三省堂国語辞典』の編集委員であり、アニメ版『舟を編む』の監修も務めた著者が、国語辞典はどうやって作られているのかを教えてくださいの本です。

国語辞典を作るために、編集委員の人達は「ことば」を「ハント」します。つまり、言葉を集めるのです。国語辞典は昔からある言葉の意味を載せるだけでなく、新しい言葉や、昔からある言葉の新しい使い方を説明するのも大きな役目なのです。

町を歩き、アニメを鑑賞し、新聞を読み…、ありとあらゆる言葉を集めます。そして、その言葉がどんな意味で使われているのかを簡潔に説明していくのです。

誰でも一度はお世話になったことのある国語辞典、何気なく使っていましたが、よく考えれば、あれだけの数の言葉に意味を与えていく作業はすごいですよね。

インターネットがあるから国語辞典なんかなくて結構。そう思っている人も、この本を読んだ後には国語辞典の価値に気がつくはずですよ。

#### <子どもに手渡す時のポイント>

「国語辞典は、ことばが正しいか、まちがいかを決める裁判官」ではなく、「ことばの使い方について、アドバイスをするもの」。人と人が面と向かって話すことが少なくなり、SNSなど短い言葉でのコミュニケーションが増えていくこれからの時代だからこそ、言葉の持つ多様な意味を知り、言葉で悩む人の信頼できる相談相手になりたい、という著者の考えは、これからの情報ツールの一つのあり方も私たちに伝えてくれます。国語辞典を子どもたちと利用する時に、一緒に手渡してほしい1冊です。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。